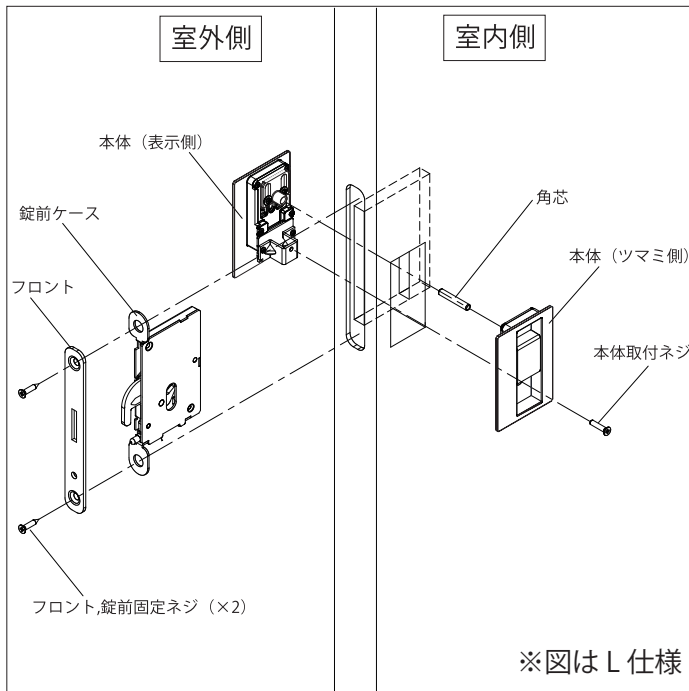




取付に関するご注意

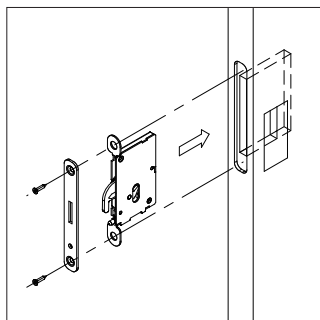
■取付けの際は、説明書（本紙）をご確認の上、正しく施工してください。
また、取付け後に必ず動作確認をしてください。

■本体取付ネジについて

目安として、ネジを締め付けた際に、建具の反り、製品の反りがみられる場合は、締めすぎとなりますので、反りが無くなる程度まで、ネジを緩めてください。加えて、ネジの締め付けトルク値としては、2～3kgf cm以内の力で行ってください。それ以上の締めすぎは、ツマミ作動の不具合、破損、扉の割れなどの原因となります。

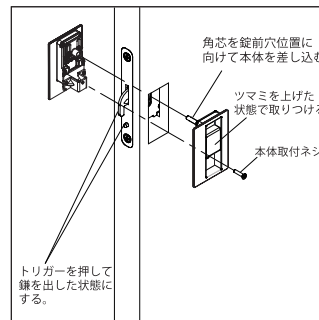
【扉厚対応表】

扉厚	40mm以上～ 44mm未満	44mm以上～ 47mm未満	
角芯長さ	 L=21mm	 L=25mm	
使用ネジ	14mm	20mm	



1

裏面切り寸法にしたがって取付穴を開けてください。取付穴に鎌錠ケースを差し込み、フロントをあて、ネジ止めします。

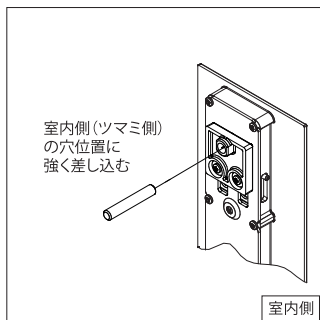


4

角芯を取り付けた本体（ツマミ側）を先に、建具切欠部分へ差し込みます。
※鎌錠は、鎌を出した状態で角芯を通す。
次にもう片方の本体（表示側）を取付け、本体取付ネジで固定してください。

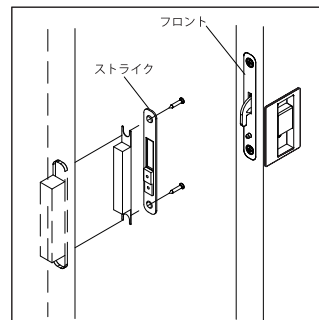
※ネジは必ず手締めで行ってください。

極端な締めすぎは、作動が悪くなる恐れがありますので注意してください。



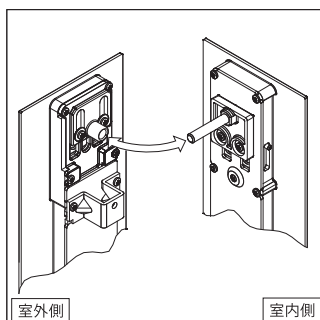
2

室内側（ツマミ側）本体裏面の穴位置に、角芯を抜け落ちない程度まで差し込みます。



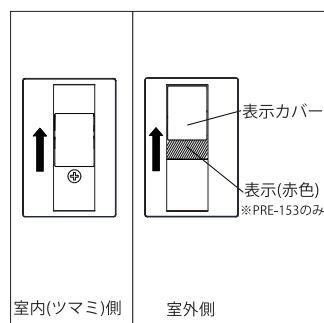
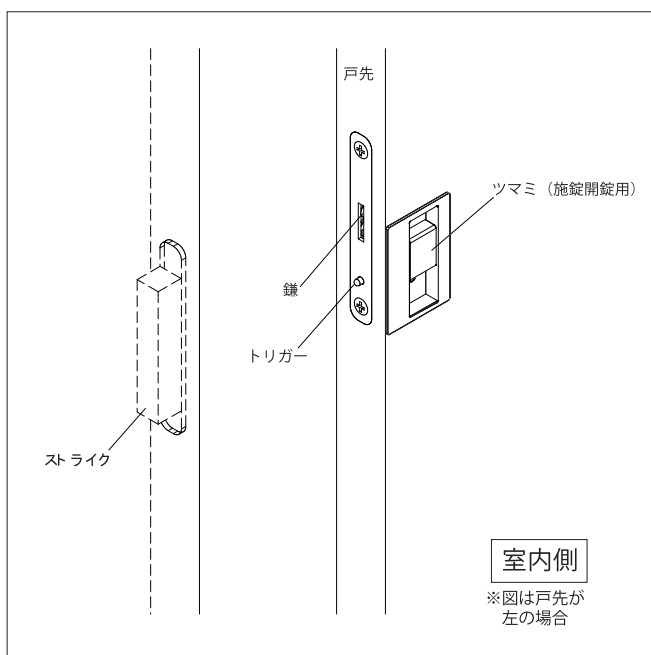
5

本体・フロントの取付位置を基準にしてストライクを取付けます。
錠前の作動具合や、製品に不具合がないか確認してください。



3

室外側（表示側）の角芯を取り付ける穴位置を確認してください。



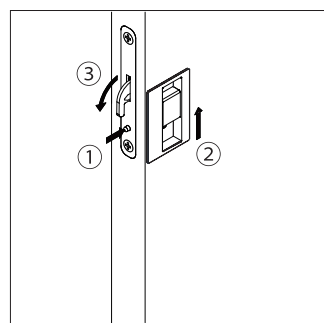
1 施錠の方法

扉を開けた後、ツマリを上へ持ち上げると、鎌が作動して扉が施錠されます。表示側には左図の表示が示されます。開錠する際は、ツマリを下げると鍵が開きます。

※
PRE-154（間仕切タイプ）に表示はありません。

2 作動の仕組み

①扉を開けるとトリガーが押されます。
②ツマリをあげます。
③鎌が出て、扉が施錠されます。
※
トリガーが引っ込んだときにツマリは動きます。扉が開いている状態はトリガーが出ているのでツマリは動きません。扉が開いている状態でツマリを動かさないでください。故障・破損の原因となります。



お願い

■取付をされる業者の皆様へ

本書は必ずお施主様またはご入居者様へお渡しください。

■お施主様・ご入居者様へ

当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。製品を正しくご使用いただくために、本書をよくお読みください。いつでもお読みになれる様に大切に保管してください。

取扱に関するご注意 ⚠️ お手入れ方法

■本製品は室内用です。屋外のほか、浴室などの水がかかる場所には取付けしないでください。部品の腐食による破損の恐れがあります。

■この商品に使用しているネジは鋭利なので、幼児の届かない所に保管してください。

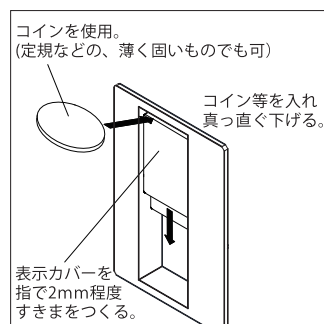
■錠・ストライク・本体の取付ネジに緩みが生じた場合、ネジを締め直してください。

■錠を分解・改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組み立て直すことができなくなります。

■水又は薄めた中性洗剤を含んだやわらかい布で定期的に拭いて下さい。

■アルコール、シンナー等の有機溶剤や酸性、アルカリ性の洗剤、クレンザー等の使用は変色、材質劣化の原因となりますので、避けて下さい。

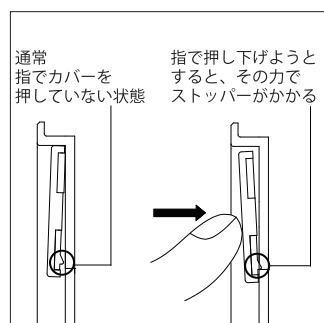
■金属たわしやナイロンたわし等は、傷がつくので使わないで下さい。



3 緊急開錠の方法

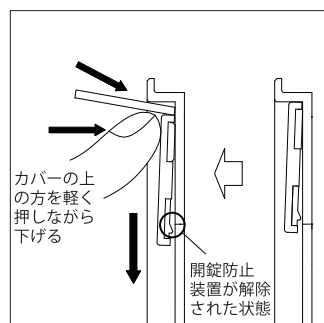
表示カバーは2mm指で押し下げる事ができます。そのすきまにコイン等を入れ、その後は、カバーを指で押さえずに、真っ直ぐ下げて下さい。

※
金属品で強く本体をこすりつけると、表面を傷つけてしまう可能性がありますのでご注意ください。



緊急開錠の仕組み ①

室外側（表示側）は、簡単に開錠が出来ないように開錠防止がついています。左図の表示カバーを指で押えて無理に下げようとすると、開錠防止装置が働き、開錠しない仕組みになっています。



緊急開錠の仕組み ②

③の方法で開錠ができなかった場合、表示カバーの上の位置を、指で軽く押しながらコイン等で下げることで、開錠が可能です。

※
カバーの真ん中や下の位置を押すと、ストッパーがかかり、開錠できません。